

S_{tudent} L_{earning} A_{dviser}

2021

SUPPORT GUIDE BOOK

for International Students

*Together we learn,
together we glow.*

サ
ポ
ー
ト
案
内

東
北
大
学
で
学
ぶ

留
学
生
の
た
め
の



本書は、東北大学の学生たちと作成した、
留学生の皆さんの学習を支援する「SLAサポート」を
紹介する冊子です。

東北大学での学生生活の中では、
生活面だけでなく、日本語習得などの学習面でも、
さまざまな困難に直面することがあると思います。

でも大丈夫です！

東北大学では、SLA (Student Learning Asviser) と
呼ばれる学生スタッフが、
皆さんの学びを丁寧にサポートします。

留学生生活を充実させるため、本書と
SLAサポートをぜひ上手に活用してください。

SLAサポートとは？

SLAサポートとは、東北大学学習支援センターが運営している、学部生や留学生の学びを支援する仕組みです。

SLAとは、Student Learning Adviserの略で、学生の皆さんの学びを支援する学習支援スタッフです。SLAには、学部3年生から大学院生まで、幅広い学年の学生がいます。所属する学部や研究科も多様です。SLAのキーワードは「ともと学ぼう、ともに育とう、ともそだち」(Together we learn, together we glow)。大学での学びでは、自律した学習態度が大事ですが、同時に「学び合い」も不可欠です。そこでSLAサポートは、学生同士の「学び合い」を通して、東北大学での学びを一層充実させていくことを目指した活動を行っています。



SLAサポートの特徴

1

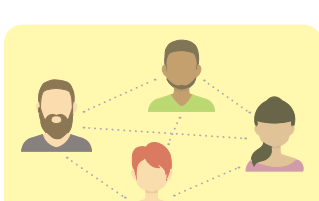
どこで失敗や挫折をしやすいかを、知っている



SLAたちは、皆さんと同じ東北大学で学ぶ学生です。皆さんよりも、少し先に東北大学で学んできた経験を持っていて、失敗や挫折をしそうなときにどうしたらよいかを知っています。先生には聞きづらいことも、気軽に相談してみてください！

2

いろいろな学生と交流することができる



せっかく留学したのに、日本人と関わる機会が少ないという場合もあります。SLAサポートを利用することで、自分の研究室以外の日本人学生と話すことができます。日本人が使っている日本語表現や、日本の習慣・文化を知る機会にもなります。

3

学生同士だからこそ、共に考え、学び合うことができる



SLAも学生で、いつも完璧に支援できるわけではありません。皆さんと一緒に考えて、悩んで、一緒に学んでいく存在です。だからこそ、皆さんと一緒に成長していくことができます。

SLAサポートの利用方法

2020年度より、SLAサポートでは、「**オンライン支援**」と「**対面支援**」を併用しています。特に留学生の皆さんによる利用が多いSupport Menu1～3は、オンライン支援が中心です。また、東北大学のBCPレベルが高い時は、「オンライン支援」のみとなります。

SLAサポートは、授業実施期間の平日午後を中心に活動しています。利用できる曜日や時間は、Support Menuによって異なります。詳しい利用の

仕方やスケジュールの確認方法は、各支援の紹介ページをご確認ください。

学習支援センター(SLAサポート)問い合わせ先

✉ sla-support@grp.tohoku.ac.jp

☎ 022-795-3374

オンラインでの支援を希望する場合



Google MeetやZOOMなどのオンライン会議システムを用いて行います。予約・利用には、東北大学のDCメールが必要になります。

1 webサイトから事前予約

オンラインでの利用は、事前予約制です。それぞれのSupport Menuの説明を読み、そのページの中にある「**オンラインでの支援を予約する**」ボタンをクリックすれば、予約Webサイトにつながります。不明点があればメールか電話でセンターにお問い合わせください。

※同時に複数の予約ができません。予約日時が都合が悪くなった場合は、早めにキャンセルをお願いします。

2 利用当日にメールで案内が届きます

利用当日に、担当SLAから、オンライン会議システムのルームURL等の情報をメールでお送りします。利用直前の連絡になることもありますが、焦らずお待ちください。

※利用時は、カメラをONにさせていただくとより良い支援ができます。ただし、通信環境の問題で支障があれば、カメラをOFFにしたままの利用も可能です。

対面での支援を希望する場合



川内北キャンパスのマルチメディア教育研究棟の1階フロアにある「SLAラウンジ」で行っています。空きコマや授業後などに気軽に利用できます。



マルチメディア教育研究棟(通称M棟)



M棟1階フロアにある「SLAラウンジ」

1 予約しなくても好きな時に利用可能!

対面での対応は、基本的には予約不要。活動時間中であれば、好きな時に来て利用できます。空いているときはすぐに、混雑時は順番にご案内します。

※BCPレベル次第で、事前予約制をとる場合もあります。

2 初めての方は窓口で利用登録を

初めて対面にて利用する方は、「SLAラウンジ」の窓口で声をかけてください。簡単な案内の後、登録用紙に記入してもらった上で、ユーザーズカードを発行します。2回目以降は、SLAに直接声をかけてください!

SUPPORT MENU 一覧

SUPPORT MENU

1

日本語の学習支援

日本語を学びたい皆さんを、1対1で支援します。「こんな時、どう言えばいいの?」「日本人はどう表現するの?」という疑問や不安を、ぜひ聞かせてください。話す練習だけでなく、メールやSNSなどで書く日本語文章についてのサポートもします。

※授業レポートや論文、研究計画書の日本語文章についての相談は、次のSupport Menu2「Academic Writingの支援」をご利用ください。

こんな人におすすめ!

- ・日本人と話す機会がないので、話してみたい
- ・授業で学んだ日本語を実際に使ってみたい
- ・日常的に使う日本語を、より自然な表現にしたい
- ・先生に日本語でメールを書かなければいけないけど自信がない

詳しく見る



SUPPORT MENU

2

Academic Writingの支援

課題レポート・Essay、授業で使うレジュメ、研究計画書、各種申請書などの執筆・作成を、1対1で支援します。執筆後のチェックだけでなく、文章を書き始める前の構想段階での相談も受け付けています。文面のNative Checkもおまかせください。

こんな人におすすめ!

- ・レポートの問いの立て方が分からない
- ・文章の構成をチェックしてほしい
- ・参考文献の書き方が分からない
- ・正しい日本語で書けているか心配

詳しく見る



SUPPORT MENU

3

英会話の学習支援

会話やゲームを通して、楽しみながら英会話を練習することができます。日常会話はもちろん、プレゼン練習、面接練習、試験対策などにも対応しています。

こんな人におすすめ!

- ・英語を使ってコミュニケーションしたい
- ・英語の学習方法が知りたい
- ・プレゼンや面接で使う英語をチェックしてほしい

詳しく見る



SUPPORT MENU

4

理系科目の学習支援

「物理」「数学」「化学」といった理系科目の相談に対応します。「答えを教える」のではなく、「一緒に考えながら理解を促す」という姿勢で支援しています。

こんな人におすすめ!

- ・授業で理解できないところがある
- ・おすすめの参考書を教えてほしい
- ・興味のある科目や分野について、ほかの学生と議論してみたい

詳しく見る



SUPPORT MENU

5

学習イベント

さまざまな学習イベントやワークショップを、定期・不定期に開催しています。開催が決まった場合は、HPやポスターでお知らせします。

こんな人におすすめ!

- ・授業以外でも様々なことを学びたい
- ・専門分野外のことに視野を広げたい

詳しく見る



「日本語」を上達させたいなら、
これがおすすめ!

SUPPORT MENU-1

日本語の学習支援

日常生活で使える日本語を
身に付けましょう!

「せっかく日本に留学しているのに、日本語を使う機会がない」「教科書に載っているような“Formal”な日本語だけではなく、日常生活で使える“Casual”な日本語を身に付けたい!」「Readingはできるけど、Speakingは苦手」…そんなお悩みはありませんか?

『日本語の学習支援』の「1on1日本語会話」では、約30分間、SLAと1対1で日本語会話の練習をすることができます。一人ひとりのレベルに合わせた日常会話の練習のほか、日本文化や学生生活に関する疑問、大学の授業で聞いたけどわからなかった日本語に関する質問まで、担当SLAのできる範囲でさまざまなご要望に応えることができます。友達感覚でお話してみましよう!

「会話」だけではなく、メールやSNSなど日常で使う「文章」のNative Checkのサービスもあるので、希望する場合はSLAサポートまでご連絡ください。

支援内容紹介

1対1の会話練習で、
楽しみながら日本語を学ぼう

1on1日本語会話

PHASE 1 利用目的のヒアリング

まずはSLAから、伸ばしたい力や支援してほしいことをお尋ねします。日常会話の練習、敬語の練習、就活やアルバイトで使う“Formal”な日本語の学習など、やりたいことを教えてください。また、文法や発音の間違いをその都度訂正してほしいかなどの希望もお聞きます。

PHASE 2 会話の練習

ヒアリング後、ご要望に応じて日本語会話の練習をしていきます。

具体的に支援してほしいことがない場合、レベルに合わせた練習内容をSLAがご提案します。日本語を学習し始めたばかりの人であれば、簡単な自己紹介の練習や、写真・イラストを日本語で説明する練習をすることが多いです。

[支援の内容をもっと詳しく知る](#)

[オンラインでの支援を予約する](#)

「日本語の学習支援」を 利用する時のADVICE

「たくさん日本語を話してみよう」

間違えることを恐れず、SLAとたくさん話してみましよう。SLA日本語会話は日本語での会話を練習するための場所です。間違いを恐れず、気楽に利用してください。

「わからないことはSLAに伝えよう」

SLAの日本語が聞き取れなかった、SLAの話していることがわからなかったときは遠慮せずに伝えてください。



[SUPPORT MENU 一覧に戻る](#)

レポートや論文をはじめとした
文章・書類の書き方を幅広く支援!

SUPPORT MENU-2

Academic Writing の支援

レポートの型やルールを正しく理解し、
ライティングスキルを高めよう!

大学ではテストの他に「レポート」という形で成績が評価されることも多くなります。また、多くの学部では大学4年間・6年間の学修成果を「論文」という形でまとめることとなります。大学で皆さんが挑むレポートや論文は“Academic Writing (アカデミック・ライティング)”と呼ばれ、決まった「型やルール」に則った「論理的な文章」を書くための様々な技術が必要になります。さらに、レポート・論文以外にも、授業の発表資料や、「研究計画書」「申請書」のような公式の書類を書く機会も増えます。

『Academic Writingの支援』では、そういった文章や書類の書き方をSLAが優しく教えます! 楽しくおしゃべりしながら、ライティングを学びましょう!

よくある質問の例

- ・初めてで不安なので書いたものを見てほしいです。
- ・課題要件にありますか?
- ・日本語の表現でおかしなところはないですか?
- ・書き言葉になっていますか?
- ・引用文献の書き方、引用の仕方のルールを知りたいです。
- ・文献や資料はどう探したらよいですか?
- ・授業の発表で使うレジュメとスライドをチェックしてほしいです。

オンラインでの支援を予約する

「Academic Writingの支援」を利用する時のADVICE

「課題の内容をSLAに説明しよう!」

課題の出され方によってレポートの中で書くべきことは変わってきます。課題の内容が分かる資料を持って来てください。

「自分の考えを言葉にしよう」

話をしているうちに論点や書きたいことが整理されてくることは多々あります。考えたことは積極的に話してください!

「書き方のルールを、しっかり覚えよう」

Academic Writingは、書き方のルールをしっかり覚えておくことが大切! 以下のPDFにも、Academic Writingのルールをまとめてあるので、困ったときは読んでみてください。

PDF:「ライティングのHOW TO」



SUPPORT MENU 一覧に戻る

受験英語から使える英語へ!

SUPPORT MENU-3

英会話の学習支援

英語が苦手な人も、英語力を伸ばしたい人も WELCOME!

みなさんの英会話の学習を支援します。英会話の上達には、何より「継続」が大事。そこでこの支援では、みなさんが無理なく、楽しみながら学べることを大事にしています。ぜひ空きコマなどを利用し、定期的に利用してください!

『英会話の学習支援』では、「1 on 1英会話」と「英会話カフェ」という2つの支援を用意しています。「1 on 1英会話」では、SLAが約30分、1対1で対応します。レベルに合わせた英会話の練習のほか、プレゼンの練習、TOEFLをはじめとした試験対策など、担当SLAのできる範囲で、個別のニーズに応じることができます。

「英会話カフェ」では、SLAと複数人の利用者が、会話やゲームを通して、みんなで楽しく英会話の練習をします。会話をするトピックなどはSLAが用意しているので、気軽にフラッと参加してください。英語は苦手という方も安心してください、SLAがレベルに合わせた支援をします!

支援内容紹介

SLAと1対1での英会話練習、試験対策などに!

1on1英会話



PHASE 1 利用目的のヒアリング

まずはSLAから、伸ばしたい力や支援してほしいことをお尋ねします。日常会話の練習、授業のプレゼンの準備、TOEFLや英検の対策など、やりたいことを教えてください。

また、文法や発音の間違いをその都度訂正して欲しいかなどの希望もお聞きます。

PHASE 2 会話の練習

ヒアリング後、ご要望に応じて英会話の練習をしていきます。

具体的に支援してほしいことがない場合、レベルに合わせた練習内容をSLAがご提案します。英語を学習し始めたばかりの人であれば、簡単な自己紹介の練習や、写真・イラストを英語で説明する練習をすることが多いです。

オンラインでの支援を予約する

大勢で楽しみながら英会話を学ぼう!

英会話カフェ



みんなで自己紹介

英会話カフェでは、初対面の人同士が話すことも多いため、まずは学部や趣味などを簡単に紹介し合います。英会話カフェに通っていると、いろんな学部の人と友人になれるというメリットもあるよ!

3 truths, 1 lie

自己紹介も兼ねたゲームです。それぞれが、「3つの本当のことと、1つのウソ」を含めたプレゼンテーションをし合います。それぞれの人がついたウソを見破るゲームです。人を騙すための演技力も問われます!

Topic Cards

「旅行に行くならどこ?」「なぜ東北大を選んだ?」など、様々な質問が書かれたカードをランダムに引いて話し合います。うまく表現できないときや聞き取れないときはSLAが手伝います。

動画で英会話

You Tubeやニュースサイトなどで、英語の動画を一緒に見て、出てきたフレーズなどを使って英会話を楽しく練習します。このほかにも、家で一人でもできる英会話の効果的な学習方法の紹介もしています。

「英会話の学習支援」を利用する時のADVICE

「とにかく話してみよう」

英会話に慣れないうちは、間違わないかと緊張するもの。文法を気にしすぎないで、まずは単語からでも話してみよう。

「聞き取れないときはSLAに言おう」

聞き取れなかったときは遠慮せずにSLAに伝えてください。そのままにしておくとお話についていけなくなることも…。

SUPPORT MENU 一覧に戻る

授業科目に関する質問だけでなく
学習相談や議論にも応じます！

SUPPORT MENU-4

理系科目の学習支援

物理・数学・化学などの学習に 関する質問を受け付けます

物理・数学・化学の担当別に窓口を開いており、対象となる授業科目に関する質問に対応しています。科目に関する具体的な質問以外でも、勉強の仕方・授業の履修・研究室の選び方の相談や、「議論したい」「先輩の話を聞いてみたい」という方の利用もできます。もちろん文系学生の利用も大歓迎です！

テスト前になると混雑することも多いので、時間に余裕を持って来てくださいね。

対象となる授業科目

物理 / PHYSICS

物理学A,B,C,D 力学 流体力学 電磁気学 量子力学 熱力学 解析力学 材料力学 etc.

数学 / MATHEMATICS

線形代数学A,B, 概要 解析学A,B,C, 概要 数理統計学 応用数学 数学序論 代数学序論 幾何学序論 etc.

化学 / CHEMISTRY

化学A,B,C 物理化学 分析化学 etc.

その他 / OTHERS

自然科学総合実験：化学・物理のSLAが対応可能
数学物理学演習：物理・数学のSLAが対応可能
専門科目：SLAによって対応可能範囲が異なります

よくある質問の例

- ・教科書のこの部分、何度読んでも理解できません。
- ・問題の意味が分かりません。
- ・計算が複雑で悩んでいます。
- ・解いたけど自信がないので確認してほしいです。
- ・レポートってこんな感じで大丈夫なんですか？
- ・おすすめの勉強方法を教えてください。
- ・この分野のおすすめの参考書はありますか？
- ・研究室・コース選択どうしましたか？

オンラインでの支援を予約する

「理系科目の学習支援」を 利用する時の **ADVICE**

「テキストやノートを準備しよう」

テキストや板書ノートなどを持ってきてもらえると、みなさんの学習状況や授業に沿ったサポートを行いやすいです。

「考えたことを言葉にしよう」

質問に来るまでに考えた過程を教えてください。SLAの説明がわかりにくい場合は遠慮なく言ってくださいね。

「一緒に考えて手を動かそう」

SLAはあくまでサポートをする役目。一緒に考え、手を動かしながら問題解決の糸口を探りましょう！



SUPPORT MENU 一覧に戻る

色々なイベントに参加して
視野を広げよう!

SUPPORT MENU-5

学習イベント

SLAサポートでは、皆さんの日々の学びを支援することだけではなく、様々な学習イベントを企画・開催しています。

このページでは、過去に行ってきたイベントの内容を紹介します。ぜひ、専門に関連したこと以外にも様々なイベントに参加し、自分自身の学びを広げ、深めるきっかけにしてください。

※学内のBCPレベルに応じて、オンラインでの開催、あるいは実施を見送る場合があります。

EVENT-1

『レポート指南書』 入門ゼミ

レポートを中心とした「アカデミック・ライティング」についてのゼミを、例年4～5月頃に開催しています。1年生の入学ガイダンス時に配布される『レポート指南書』の内容から、特に大事なところを学んでいきます。ワーク形式で行うので、実際に手を動かしながら、レポートの書き方の基礎を身につけることができます。

『レポート指南書』を読んでみたけどよく分からない方や、もっと理解を深めたい方は、ぜひ積極的に参加してみてください。

ゼミの内容



- ①問いの立て方
- ②学術情報の見極め方
- ③レポートの構成の仕方
- ④パラグラフ・ライティングの書き方
- ⑤引用の仕方
- ⑥推敲の仕方

EVENT-2

学びの転換セミナー

学外からゲスト講師を呼んで、「学び」を広げるためのセミナーやワークショップを開催しています。テーマは回ごとに異なりますが、大学の中ではなかなか出会えない、ユニークな専門性を持った方を招いています。ここ数年は、人工知能や即興演劇(インプロ)の専門家によるセミナーのほか、アーティストを招いたトークイベントを開催しました。内容が決まり次第、ホームページやポスターでお知らせするので、ぜひチェックしてください!

EVENT-3

美術館の楽しみ方、 教えます!

川内キャンパスのすぐ近くにある宮城県美術館をみんなで訪れ、学芸員の方の話を聞きながら、作品をじっくり見て、対話するイベントです。多くの人が数居の高いものとして感じがちな、美術館に足を運ぶきっかけを作ることを目指して生まれた企画です。

EVENT-4

Language Exchange

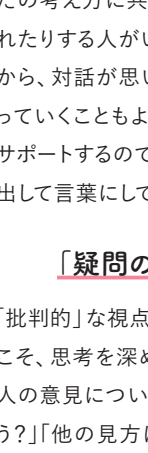
東北大学を訪れた短期留学の学生と、東北大生が、英語と日本語で会話をし、交流を楽しむイベントです。昨年は簡単なゲームなどを交えながら、互いの国や文化を紹介し合いました。自分の英語力を試してみる機会にもなるかも?

EVENT-5

かんがえるソファ (哲学カフェ)

私たちは普段、「なんとなく」わかっているつもりで抽象的な言葉(概念)を口に出したり聞き流したりしていますが、いざ「そもそも〇〇ってどういう意味?」と問われると、明確に答えることができないことに気づかされます。「かんがえるソファ(哲学カフェ)」は、いつも「なんとなく」通り過ぎてしまう抽象的あるいは素朴な疑問について、みんなでじっくりと考えてみるイベントです。各回ごとにテーマを設定し、集まったメンバーで約1時間半の間ゆっくりと対話をしながら、テーマを掘り下げていきます。

各回のテーマの例



- ・「コミュニケーション?」
- ・「孤独について考える」
- ・「愛するってどういうこと?」
- ・「自分らしさってなに?」

対話の内容を詳しく知る

「かんがえるソファ(哲学カフェ)」で 対話をする時のADVICE

自信を持って発言しよう!

「たいした意見じゃないから…」「話がうまくないから…」なんて思う必要はありません。あなたの考え方に共感してくれたり、面白がってくれたりする人がいるはず。なんてことない一言から、対話が思いもよらず面白い方向に転がっていくこともよくあります。SLAがしっかりとサポートするので、何か頭に浮かんだら勇気を出して言葉にしてみましょう。

「疑問の雨」を降らせよう!

「批判的」な視点、すなわち「疑問を持つこと」こそ、思考を深める第一歩。自分自身や他の人の意見について「どうしてそう考えたんだろう?」「他の見方はできないかな?」「反対の例はないかな?」「本当かな?」「どういう意味だろう?」などと、疑問の雨を降らせてみましょう。別の角度から眺めることで理解が深まったり、新しい考えが生まれたりします。

自分の考えの変化を楽しもう!

かんがえるソファの基本は議論ではなく「対話」。テーマに関して話し合うという点では同じですが、議論のように結論を出したり、どちらが正しいかを競ったりするのではなく、皆で意見を出し合いながら「視野を広げること」を目指しています。様々な学生に出会い、新たな考えに触れることで、自分の考えが変わっていく面白さを体感してみましょう!

SUPPORT MENU 一覧に戻る



鏡 耀子 Yoko KAGAMI

日本語担当 / 文学研究科 博士1年

私自身、英語の勉強で苦労していて、外国語を話すことの怖さがとてもよく分かります。だからこそ、間違いを恐れず、安心して会話を楽しんでもらえるような対応を心がけています。自信がなくても大丈夫、間違い大歓迎です！皆さんの国のこと、日本に来て感じたこと、日本語の疑問など、ぜひ気軽に教えてください。優しくフレンドリーなSLAメンバーが、皆さんをお待ちしています！



小川 晴生 Haruo OGAWA

日本語担当 / 経済学部 4年

こんにちは！日本語SLAの小川です。僕も、留学生としてドイツで暮らしていました。しかし、言葉や文化が全く違って、本当に生活が大変でした。もし、日本での暮らしを不安に感じていたら、その気持ちよくわかります…。でも、東北大学なら、助けてくれる人がたくさんいるのできっと大丈夫です。僕たちSLAも皆さんの生活を一生懸命サポートします。気軽におしゃべりする感じで、ぜひSLAを利用してみてください！待ってます！



江村 玲 Rei EMURA

日本語担当 / 文学部 4年

私は以前アメリカに留学していましたが、英語を上手に話せませんでした。そのとき現地の方々が私の英語を一生懸命聞いてくれて、さらに教えてくれたこともあり、それが本当に助かりました。私もそんな存在になりたいと思い、今はSLAで留学生の日本語のサポートをしています。日本語は母語話者の私から見ても複雑で面倒くさい言語です。でも、その分とても美しくおもしろい言語です。みなさんと共に日本語を学ぶのを楽しみにしています。



服部 祥英 Shohei HATTORI

ライティング担当 / 工学研究科 修士1年

留学生の皆さま、日本へようこそ。世界中の言語の中でも難解であるとされる日本語を外国語として選び、文章を作成されることは、本当に大変なことだと思います。私たちは、ライティング部会として、日本語の文章であなたの考えを伝えられるように、お手伝いをさせていただきます。ぜひ気軽に利用して下さい。



中野 惟文 Korefumi NAKANO

ライティング担当 / 文学研究科 博士3年

留学生の皆さん、東北大学へようこそ。故郷から離れた日本の宮城県という異文化の中で勉強することは刺激的であり、同時に難しいこともあると思います。私自身もカンボジアという国で調査経験があるので、その楽しさも辛さも良く分かります。個人的にも留学生の皆さんを応援しています。私たちSLAのライティング支援では、皆さんの留学生活の中でもレポート作成や論文執筆のサポート活動をしています。「文法が合っているか」「正しい言葉遣いか」「論理的に書けているか」などといった皆さんの不安を一緒に解決していきます。お気軽にいらっしゃってください。



野崎 舜介 Shunsuke NOZAKI

日本語担当 / 理学部 4年

はじめまして！元日本語SLAの野崎です。日本へ、東北へようこそ。このメッセージを見ている留学生のみなさんは、きっと日本語を学ぼうとしてくれているのだと思います。まず、そのことをとても嬉しく思います。自分たちで使っていても、日本語はとても難しく困るときがあるのに、それを一から学ぶのは更に大変だと思います。ひとつアドバイスをするとしたら、「自分の好きなモノから日本語を学ぶ」ことです。日本のアイドルでも、ドラマでも、アニメでも構いません。好きなモノを見つけて、そこで使われる日本語を学んでみてください。そして出来れば、そこで学んだ日本語を実際に使ってみてください。どうしても分からない部分があったら、いつでも私たちSLAに頼ってくださいね。皆さんが楽しく日本語を話せるようになることが、私たちの一番の喜びです。